

やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院
千葉芙蓉病院
きゃらの樹ケアセンター



芙蓉会社内報 令和2年10月号

芙蓉会

理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

コロナ禍の状況は変わらず、未だに出口の見えぬ日々が続いております。安倍総理の辞任を受け、新しい総理に菅前官房長官が選出されました。アメリカでは、国民投票で11月に大統領選挙が実施されますが、政治のトップを決める方法の違いを改めて考えさせられました。噂されている選挙後の混乱が無いようにと願うばかりです。

新型コロナウイルスの影響は凄まじく、国内の多くの業種において減収減益は、避けられそうにありません。医療業界に目を向けると、感染者数の多い首都圏の病院は、利用者の減少により軒並み減収。特に目を引くのが、感染者の入院受け入れに対応した病院の落ち込みです。一般的にも周知されているとおり、間もなく医療従事者への慰労金が支給される予定ですが、業界に身を置く立場としては、GOTO等の、何とかキャンペーン種の財政政策よりも、医療業界への手厚い政策を切に期待します。

最近では、「鬼滅の刃」たるアニメが流行しているようで、食事の際の子供達の会話にもこのアニメの話が多く、日本経済の救世主とまで言われている理由も理解できます。この困難な時期にでも世間に支持を受ける手法に、何かヒン



トを見出したい所です。

さて、業界内では来年4月に予定されている介護報酬改定の概要が少しずつ見えてきました。コロナと共存していく上での対応は言うまでもありませんが、介護保険の理念でもある「自立支援介護」に再びスポットが当てられ始めています。ご利用者に対して、ついマニュアルどおりの介護を提供する事に意識が行きがちですが、高齢者がその人らしく生活するためには、残存能力を引き出し、マニュアルに頼らない介護支援が重要です。以前に見学させていただいたグループホームの管理者からご教授いただいた「見極める事の大切さ」を思い出します。

11月は、当院でも感染対策を徹底した上で、予約制の対面での面会を実施します。今後ともご利用者、ご家族に安心していただけるように、感染対策の継続に努めて参ります。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)

- ・ふよう病院
- ・ふよう病院介護医療院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション



2020 年度 敬老祭

9月19日(土)、「敬老祭」を行いました。毎年500名を超える一般の方(地域の方々やご利用者のご家族)にご来場いただき盛大に開催しておりましたが、今年はコロナ禍で面会禁止の状態が続いており、一時は「敬老祭」の中止を検討。しかし、入院者様へのイベントの大切さを考え、ご好評いただいていた地域医療や認知症に関する講演会をはじめ協力業者による骨密度測定、町田市立南中学校太鼓部の演奏等のイベントを中止して、来場者をゼロとし、規模を縮小する形で内々に開催する運びとなりました。

参加して下さった入院者様、ご利用者が雰囲気を楽しめるようにと、スタッフが浴衣を着たり各所に装飾を施したりしてお祭り感を演出。また、栄養科とSTで研究していた炭酸飲料のとりもののつけ方を活かし、サイダーとノンアルコ

ールビールを振る舞いました。ゲームや輪投げを満面の笑顔で楽しまれ、綿菓子をおいしそうに召し上がっている顔を拝見し、来年はこれまで通りの盛大なお祝いを開催ができるようにと願うばかりです。



託児室より

託児室あおぞらでは、千葉芙蓉病院やきゃらの樹ヶアセンダーに勤務する職員のお子様をお預かりしています。

昨年ハロウィンイベントでは、ちょっとだけ仮装をしてお菓子をいただいて回った子ども達ですが、今年は感染拡大防止のため、部屋でお菓子をいただきました。イベントは相変わらずの縮小傾向ですが、このほど夏の間できなかったお散歩を再開。澄み切った高い空に、この地の豊かな自然を楽しむ子どもたちの声が響いています。みんなの元気な声がお父さん、お母さん、そしてご利用者の皆様の活力になりますように。

